

授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：京都の自然と文化的景観を活かす ILAS Seminar :Utilization of nature and cultural landscapes in Kyoto		担当者所属 職名・氏名	地球環境学舎 准教授 深町 加津枝			
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2016・前期	受講定員 (1回生定員)	10(8)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	火5	教室	農学部総合館W302(北部構内)		使用言語	日本語	
キーワード	京都 / 自然 / 文化的景観 / まちづくり						
<b>[授業の概要・目的]</b>							
京都の自然や文化、歴史などの特性に応じた景観の保全、活用手法を实践を交えながら理解し、現代的意義について考える。本授業は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」(京都学教育プログラム)における「まなびよし」として開講されるものである。							
<b>[到達目標]</b>							
文化的景観の保全および活用に関する文化、生態学的な調査の手法および計画、管理の实践を理解する。							
<b>[授業計画と内容]</b>							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 京都の自然と文化～景観を切り口にして</li> <li>2. 京都の景観を構成する自然の特徴</li> <li>3. 京都の景観を構成する自然の特徴(実習)</li> <li>4. 京都における人と自然の関わりの歴史(1)</li> <li>5. 京都における人と自然の関わりの歴史(2)</li> <li>6. 京都における人と自然の関わりの歴史(実習)</li> <li>7. 文化的景観を活かした取り組み(1)</li> <li>8. 文化的景観を活かした取り組み(2)</li> <li>9. 文化的景観を活かした取り組み(実習)</li> <li>10. 文化的景観の保全と活用(1)</li> <li>11. 文化的景観の保全と活用(2)</li> <li>12. 文化的景観の保全と活用(実習)</li> <li>13. これからの文化的景観に向けて(1)</li> <li>14. これからの文化的景観に向けて(2)</li> </ol>							
<b>[履修要件]</b>							
特になし							
<b>[成績評価の方法・観点及び達成度]</b>							
レポート / 平常点評価							
<b>[教科書]</b>							
授業中に指示する							
----- ILASセミナー：京都の自然と文化的景観を活かす(2)へ続く -----							

ILASセミナー：京都の自然と文化的景観を活かす(2)

**[参考書等]**

(参考書)  
授業中に紹介する

**[授業外学習(予習・復習)等]**

文化的景観とは何か、またその具体例について自らの生活の中で考え、積極的に関わるようにして下さい。

**[その他(オフィスアワー等)]**

実習の移動手段は、自転車を予定しています。  
"学生教育研究災害傷害保険"等の傷害保険に加入して下さい。